令和4年度公益財団法人船橋市生きがい福祉事業団事業計画書

第 4 3 期

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

基本方針

国の推計では日本の総人口は今後減少していく一方で、65歳以上の人口のピークは2042年と見込まれています。船橋市においても高齢化率は年々増加を続けており、65歳以上の人口は2053年に21.6万人(33.1%)となるまで増加を続ける見込みとなっています。

今後も少子高齢化が続く中で、令和3年4月に高年齢者雇用安定法の一部が改正され、70歳まで就業機会を確保する努力義務が企業に課せられましたが、この影響もあり60歳代の入会者の減少と高齢化が一段と加速され会員数の減少が懸念されております。

当事業団ではこのような状況の中、高齢者が自ら培った知識や経験を活かし、働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の活性化に貢献するため、高齢者の生きがい就業と社会状況を踏まえた様々なニーズとのマッチングを通じて、引き続きお客様・会員に喜ばれる事業団となることを目的に、社会の変化に多角的視野で対応し、安定した事業運営をするために、令和4年度から令和8年度までの5年間を計画期間とする新たな中期経営計画を策定しました。

令和4年度事業計画は当該中期経営計画に基づき、「会員の拡大」、「就業機会の拡大」、「安全及び適正就業の推進」、「事務局体制の強化について」を目標達成のための取り組みとして、それぞれ具体的項目を定め役職員が一丸となって取り組んでまいります。

事業団の根幹をなす会員については減少傾向が続いておりますが、特に女性会員の拡大に注力しながら、契約金額とともに令和3年度実績に対し微増を目指してまいります。

また就業機会の拡大と安全及び適正就業の推進については、お客様が満足していただけるサービス提供が肝要であり、高齢者に適した新たな就業先の開拓や、その基礎をなす会員の安全就業や健康に関する課題に対し、これらを解決する具体的な対策について実施してまいります。

事務局体制の強化については、社会の変化に多角的視野で対応できるよう事業運営組織の強化、効率化に努めるとともに、行政や関係団体との積極的

な連携についても調査研究し、就業の拡大や事業の協力体制の強化に取り組んでまいります。

事業実施計画

1 会員の拡大

65歳までの継続雇用で働く高齢者の増加や、政府の70歳までの就業機会の確保を円滑に進める企業の継続雇用の延長方針など、高齢者が活躍する場の多様化などの影響もあり、平成22年度（2010年）をピークに会員数の減少傾向が続いております。安定的な事業運営には会員の確保・拡大が最も重要な問題であります。特に女性会員の割合が全体の約2割と少ないことから女性会員の拡大が最大の課題です。

そのため、女性入会会員数を増やし、女性会員の退会を抑制するために女性会員や事務局職員が参画する「女性委員会」の設置について検討してまいります。また、関係機関の広報誌や郵便局の現金封筒広告を継続するとともに、新規にバス車内広告による会員募集案内を掲載し、さらに市民まつりや地域福祉まつりなどのイベントに積極的に参加しPRをしていきます。入会説明会については、通常毎月2回の他にも社会状況をみながら必要と判断した場合は臨時説明会を適宜開催してまいります。また、会員が少ない地区は出張説明会を適宜開催してまいります。

また、会員自身の就業の様子が広告塔となり会員拡大につながることを機会あるごとに会員に啓発し、会員が市民に入会を促していく会員一人1会員入会運動の効果を高めていきます。

さらに、経済団体などとの連携による企業退職者へのPR活動や高年齢会員の在籍のあり方についても調査研究し検討してまいります。

2 就業機会の拡大

新たな就業開拓として、平均年齢が高齢化していることから新たな視点で高齢者に適した就業先の発掘に取り組んだり、経済団体など他の団体との連携についても検討してまいります。

入会説明会で入会者の情報収集を強化することで何が出来るかを考慮した就業機会の提供を図ってまいります。また、その時点での就業状況について詳細に説明をしてまいります。

3 安全及び適正就業の推進

会員の就業中の安全確保を最優先とし、安全管理委員会の安全ニュース等で事故率の高い作業における注意喚起や現場の安全パトロールを継続してまいります。特に植木、除草作業については、作業前点検の実施による会員への安全

意識の啓発を図ることで事故の未然防止に努めます。さらに、広報誌などで定期的な健康診断の受診や日常の健康管理に努めるよう啓発を行うとともに、社会状況により必要な場合はコロナ禍における新たな生活様式の継続についても啓発を行ってまいります。また、発注者に対しても必要な場合は適正就業への見直しを求めてまいります。

4 事務局体制の強化について

安定的・継続的な事業運営を図るためには、財政基盤の確立が重要であることから、受注の拡大を始め事務費収入を確保し、国・市からの補助金の有効活用を図っていき、同時に事務経費の縮減を推進することで事業の継続化を図ってまいります。さらに、業務処理の効率化を一層推進するとともに、業務の見直しにより事業運営の効率化を推進していきます。

年々変化するシルバー事業に即応するため、職員の資質の向上及び情報交換のため研修会や講習会に積極的に参加します。また、行政等の関係団体と連携し、就業の拡大や事業への協力体制の強化に取り組みます。

また、令和5年10月より導入される適格請求書等保存方式（インボイス制度）については、その事務処理対応について準備をすすめてまいります。

5 その他

会員の技術向上を目的として植木剪定、除草刈払機、毛筆筆耕、着付など技能、技術職種の講習会、研修会を開催していきます。またお客様と接する機会の多い自転車等駐車場整理や街頭指導業務に就業する会員を対象に接遇力の向上を目的とした研修会を開催します。

また、会員の多様な社会参加と地域への貢献を図るため、ボランティア活動を社会状況をみて会員の協力を得ながら実施します。